

20/2/27 名古屋市議会市民3分間議会演説
観光と災害から見た名古屋城（演説原稿案）

おはようございます。

私は観光と災害から見た名古屋城について日頃思うことをお話しします。

私は

1-人に優しいか

2-綺麗か

3-安全か

の三つの視点から見て、名古屋城に行こうと思います。

玄関の一つ、名古屋駅は人にやさしいでしょうか。

いいえです。とっても不案内です。体の不自由な人にバリアフリーが遅れています。

特に地下鉄に降りることが不便です。

松坂屋が取り壊されて、エレベーターができました。ようやく交番とタクシー乗り場の間にできたものの、雨に濡れます。

地上の案内所が京都等あるとほっとできるのではないですか。

2番 綺麗でしょうか。これもいいえです。

駅西も不案内でゴミがあふれ、プラゴミが飛んでいます。

城に近づいても樹木が茂り、城の姿が見えなくなっています。官庁街さえ、地面は草がおい茂って、観光と言えるのかと思います。

さて、何より大切な、3安全か はどうでしょうか。

名古屋城を災害から見てみます。

12月の市の名古屋城説明会の木造が行き詰まった、無期延期とした会場で、壇上の竹中工務店からの答えは「現在のコンクリート製天守は建築基準法を満たし、煙、炎を遮断する壁や方法が完備して安全です」と答えられました。

河村市長が提案している木造天守も、ノートルダム、首里城や京都アニメのように火災で危ないのではないかと。

木造は燃えます。

巨大高層天守なので、高さマンション13階~14階相当の、急な階段が各階一つきりで全て木でできています。

もともと城主や一部の家臣が上がった天守に多数が押し寄せることはなく、安全確保上、本質的な矛盾が存在します。

耐火建築でない巨大木造建築物を適用除外できるといって作っても、多数が入れば人命に危険があり、入れてはならないのです。つまり作れません。

名古屋城木造に、バリアフリー無しは人権に関り、世界の流れにも逆行しています。
今の天守はバリアフリーもほとんど備えていて、最上階まで改善すればマルです。

地震災害は待つてはくれません。

先に決まっていた名古屋城天守耐震を、個人の趣味で、しないで済みました。耐震可能、強度もあること。

市は市民に隠しています。

木造は寸分たがわぬ本物と喧伝されて、そればかりなので、さもバラ色のように思い込む人もありますが、今の天守よりも優れているか？ 市民が対等に比べる機会はなく、今の天守を壊してやるのか？の市民の合意はありません。

様々に優れた今の天守を閉ざして、放置するのは、全く私物化です。

今の天守を耐震長寿命化して観光資源として活用すること。

これが財政にも優しく、地球にもやさしい究極のエコだと思います。

もう税金を 40 億～50 億円支出したと聞きました。直ちにストップしてください。

これこそ議会のお仕事です。

現在新型コロナという災害真っ最中です。

巷では、無駄な税金の浪費より、アルコールやマスクをください、これからは安心して暮らしていけるのか？など、切実な願いは充満しています。

やることはたくさんあります。

皆様には、1 円でも大事にしてください。

以上、市民からの提言です。